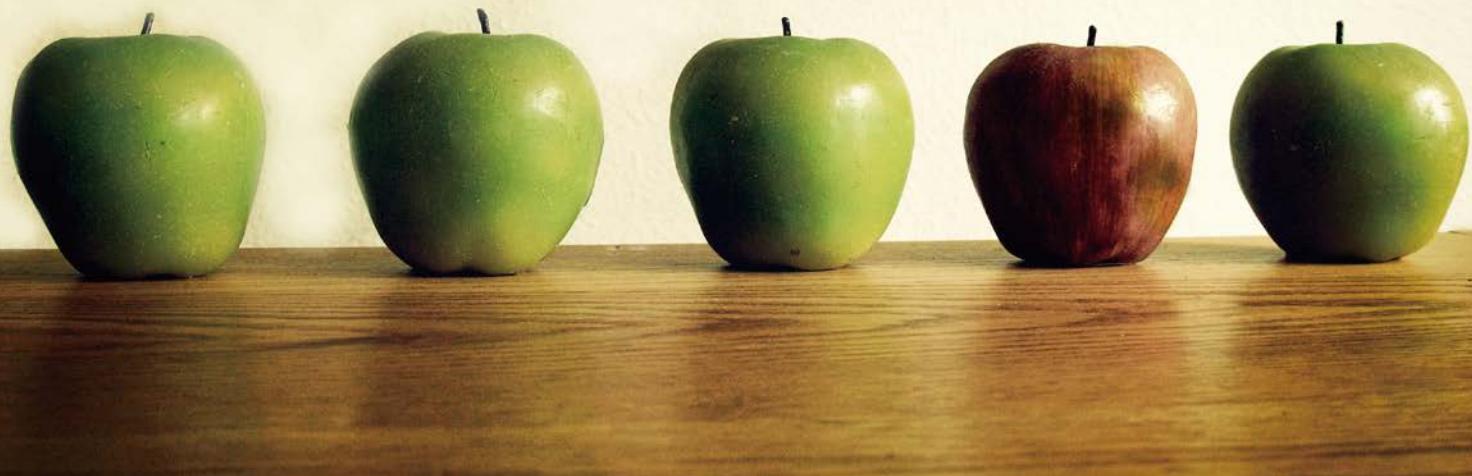


情報セキュリティセルフチェックシステム Web Self Check/LG

組織の見えない弱点、見つけます。



■ 総務省情報セキュリティ監査ガイドライン(最新版)項目全てを網羅

ガイドラインに収録された343の情報セキュリティ監査項目をわかりやすい表現に読み換えた設問としてご提供いたします。

また、チェック結果は、ユーザ様のお声にお応えし、「一括出力」が行えるようになりました。これまでのレーダーチャートやグラフ等を用いた分析結果も(※オプション機能)出力でき、思い通りの視点から回答データを分析することが可能です。セルフチェックや**内部監査支援ツール**として、お使いいただけます。



ユーザインターフェイスの見直し

利用者が素早く操作できる画面を実現

事前準備の簡素化

一括取込・出力機能の充実

結果データの一括出力

欲しいデータを全て一括出力

アンケート機能の追加

様々な意見の収集が可能

「9のドメイン」と分かりやすい 「12のカテゴリ」による表示が選択可能

総務省ガイドラインで定められた9の領域(ドメイン)を監査人によって12のカテゴリに分かりやすく分類しています。利用者はドメイン/カテゴリを自由に選択し、回答できます。



総務省の監査ガイドラインに収録の項目を全て平易な文書に読み換え

総務省「地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン」に収録された情報セキュリティ監査項目を全て監査人が文意を残したまま分かりやすい文書に読み換えました。また、設問には具体例を加え、さらに回答しやすいよう工夫している他、必要に応じて内容のカスタマイズを行うことも可能となっています。

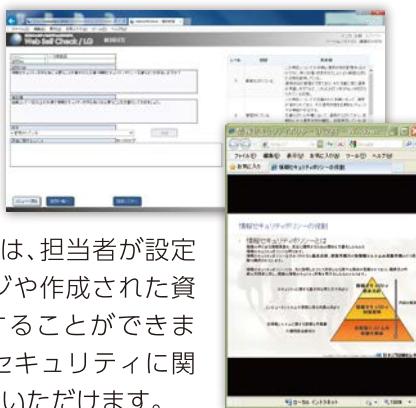
4パターンの設問を設定可能

S管理、管理者、一般A、一般Bと4つの設問パターンが設定できます。例えば、システム管理者をS管理、管理職を管理者、一般職員を一般A、臨時職員を一般Bなど、設問パターンをすることで、より実態に沿ったチェックが行えます。



eラーニングモードの強化

情報セキュリティに関する初步的な簡単チェックコースとして、eラーニングモードをご用意。また「学習解説リンク」の設定が可能となりました。利用者は、担当者が設定した設問に関するページや作成された資料などを閲覧し、学習することができます。今まで以上に、情報セキュリティに関する教育の場面にご利用いただけます。



回答者の進捗確認も ブラウザ上から行えます

回答状況を確認する為の進捗確認機能もご用意しました。管理者(SV権限)はもちろん、進捗管理者(SSV権限)のユーザからも確認いただけます。ここでは、回答の未終了者一覧の確認や個人の結果確認も合わせて行えます。また、回答者にはそれぞれ異なる回答期間を設けることも可能です。



設問の一括登録・出力が可能

NEW!

これまで、ブラウザ上からの回答実施設問の選択、設問内容の編集を行っていましたが、本バージョンからは、昨年実施設問の一括出力、実施設問内容の一括登録を行っていただくことが可能です。



結果の一括出力

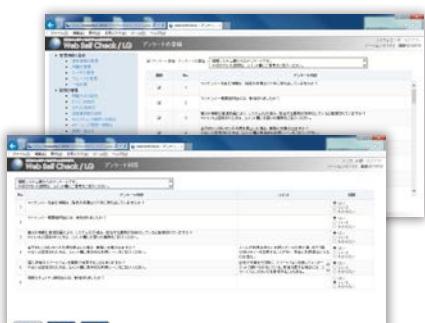
NEW!

これまで、結果のダウンロードが一度には行えず、結果の出力にかなりの時間を費やすことになっていました。また、欲しい情報が欲しい形で出力することは困難でしたが、本バージョンからは、欲しい情報が全て一括出力できることから、ご担当者様の思い通りの集計分析を行っていただくことが可能です。

アンケート機能の追加

NEW!

これまで、情報セキュリティ監査項目以外のセキュリティに関する設問を設定することが不可能でしたが、本バージョンでは、アンケート機能を設け、ご担当者様の任意に作成された設問を設定し、アンケート実施することができます。(結果は一括出力可能)



※動作環境は、別途提案資料にてご確認ください。